

2020年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場会社名 CRGホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7041 URL <https://www.crgh.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古澤 孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小田 康浩 (TEL) 03-6302-0834  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	15,627	△6.0	315	4.6	313	9.9	177	2.7
2019年9月期第3四半期	16,619	7.1	301	△41.0	285	△44.4	172	△46.1

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 177百万円( 2.7%) 2019年9月期第3四半期 172百万円(△46.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	32.56	30.65
2019年9月期第3四半期	31.95	29.52

(注) 当社は2018年10月10日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年9月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2019年9月期第3四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	5,358	2,428	45.3
2019年9月期	5,350	2,250	42.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 2,427百万円 2019年9月期 2,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2020年9月期	-	0.00	-	-	-
2020年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,130	△9.3	370	△18.8	370	△14.8	190	△28.2
								34.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2020年8月14日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	5,452,500株	2019年9月期	5,452,500株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	126株	2019年9月期	35株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	5,452,395株	2019年9月期3Q	5,408,916株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行、及び経済活動の抑制に伴う影響を受け、全産業において景況感は悪化傾向を示しております。また、同感染症拡大に伴う影響に加え、米中貿易摩擦や金融資本市場の変動など、世界経済の不確実性は極めて高く、景気の先行きが見通しにくい状況が続いております。

当社グループが属する人材サービス業界におきましては、2020年6月の有効求人倍率(季節調整値)は1.11倍、完全失業率は2.8%となり、構造的な人手不足は継続している一方で、前述の景気の不透明さを受けて一部の企業において採用活動を縮小・中止する傾向が高まっております。

このような市場環境のもと、当社グループにおきましては、「人のチカラとIT」の融合を事業方針として掲げ、主力の人材派遣紹介事業における継続的な労働力の提供に加え、業務効率化の支援を行うことを目的に、人材派遣紹介事業にて培ったナレッジを活かした採用支援・BPOなどの各種代行事業や、AI、RPA(注1)、OCR(注2)を活用したITソリューション事業を行っており、人手不足という大きな課題を解決するためのトータルサポートを提供してまいりました。また、近年、潜在労働力として期待されているシニア、女性、グローバル人材の活用や、障がいをお持ちの方の雇用機会の創出や処遇の確保にも注力してまいりました。

当第3四半期連結会計期間におきましては、当社グループの従業員の新型コロナウイルス感染防止に努めたほか、急速な市場の悪化を踏まえ、一層の経費の削減を行うなど経営資源の最適化に注力するとともに、新規顧客の開拓に注力いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うイベント活動の自粛等の影響を受け、配送やイベントの企画・集客・運営をサポートする株式会社ジョブスを中心に軟調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は15,627百万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は315百万円(前年同期比4.6%増)、経常利益は313百万円(前年同期比9.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

なお、当社グループは、人材派遣紹介関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

- (注) 1. Robotic Process Automationの略。主にパソコンで作業している定型化された業務を、ロボットにより自動化する取り組みのこと。  
2. Optical Character Recognition/Readerの略。手書きや印刷された文字を、イメージスキャナやデジタルカメラによって読みとり、コンピュータが利用できるデジタルの文字コードに変換する技術のこと。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,358百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が494百万円減少したものの、現金及び預金が549百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は2,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が増加したものの、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金純額が228百万円、1年内償還予定の社債及び社債純額が17百万円、未払費用が164百万円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,428百万円となり、前連結会計年度末に比べ177百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が177百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大状況により、合理的な算定が困難であったことから、5月15日に一旦取り下げ、未定としておりましたが、緊急事態宣言が解除され経済活動が再開しつつあることから、現時点で入手可能な予測等を踏まえ業績予想を算定いたしましたので公表いたします。2020年9月期の連結業績予想につきましては、本日公表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれます。業績の実績は、今後の様々な要因の変化により、当業績予想と乖離する可能性があります。予想の修正が必要な場合には速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,982,881	2,532,490
受取手形及び売掛金	2,582,416	2,088,063
その他	139,929	106,087
貸倒引当金	△6,814	△4,542
流動資産合計	4,698,413	4,722,097
固定資産		
有形固定資産	137,230	136,913
無形固定資産	138,193	144,529
投資その他の資産		
その他	387,407	368,023
貸倒引当金	△10,516	△12,884
投資その他の資産合計	376,890	355,139
固定資産合計	652,314	636,582
資産合計	5,350,727	5,358,680
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54,169	36,464
短期借入金	350,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	304,104	244,254
1年内償還予定の社債	22,000	20,500
未払法人税等	101,822	32,494
未払費用	1,299,205	1,134,973
賞与引当金	98,709	63,861
その他	521,712	579,577
流動負債合計	2,751,723	2,762,126
固定負債		
社債	16,000	—
長期借入金	328,420	160,192
その他	3,740	8,054
固定負債合計	348,160	168,246
負債合計	3,099,884	2,930,372
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	437,688	437,688
資本剰余金	666,905	666,905
利益剰余金	1,145,874	1,323,410
自己株式	△39	△111
株主資本合計	2,250,428	2,427,893
新株予約権	415	415
純資産合計	2,250,843	2,428,308
負債純資産合計	5,350,727	5,358,680

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	16,619,520	15,627,056
売上原価	13,344,658	12,526,514
売上総利益	3,274,862	3,100,541
販売費及び一般管理費	2,972,894	2,784,833
営業利益	301,968	315,708
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	8
助成金収入	2,607	5,550
その他	775	409
営業外収益合計	3,390	5,968
営業外費用		
支払利息	6,429	5,110
株式公開費用	3,597	—
株式交付費	3,735	—
事務所移転費用	4,465	2,190
その他	1,412	379
営業外費用合計	19,640	7,680
経常利益	285,718	313,996
特別損失		
固定資産除却損	1,888	8,362
特別損失合計	1,888	8,362
税金等調整前四半期純利益	283,830	305,633
法人税、住民税及び事業税	97,375	101,500
法人税等調整額	13,633	26,597
法人税等合計	111,009	128,098
四半期純利益	172,821	177,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	172,821	177,535

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	172,821	177,535
四半期包括利益	172,821	177,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,821	177,535
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症による影響につきましては、国内における緊急事態宣言の解除等により経済活動再開の動きが見え始めておりますが、当社グループの第3四半期連結累計期間の実績、現時点で入手可能な情報等に基づき、当該影響が少なくとも2020年9月末まで続くものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性を検討の上、会計上の見積りを行っております。なお、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が多く、今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。